

家畜衛生情報 No. 2

令和4年4月28日

上北地域県民局地域農林水産部 十和田家畜保健衛生所
上十三地区家畜衛生推進協議会
(一社)青森県畜産協会

0176-23-6235 (FAX 0176-23-3044)
0176-25-2362 (FAX 0176-24-3888)
017-722-4331 (FAX 017-731-1196)

GWにおける高病原性鳥インフルエンザ等への防疫対策を徹底しましょう

高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）は、今シーズン、12県・22事例の発生が確認され、4/26には北海道釧路市でエミュー約100羽のHPAI陽性が確認されており、春になっても予断を許さない状況が続いています。ゴールデンウィークを迎えるにあたり、飼養衛生管理基準を遵守し、**防疫対策を引き続き徹底**してください。

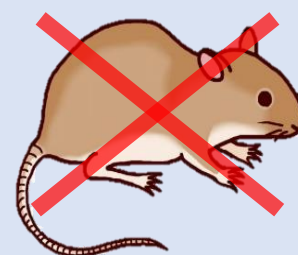
農場を守るために

① 海外渡航の自粛

② 病原体の持ち込みの防止

- ・看板の設置等により、必要のない者を衛生管理区域や畜舎に立ち入らせないようにすること。
- ・鶏飼養に不要な物を農場内に持ち込まないこと。
- ・衛生管理区域もしくは畜舎に立ち入る場合、又は物を持ち込む場合には、手指の消毒、専用靴の着用、物品の消毒等を行うこと。
- ・野生動物や野鳥を、衛生管理区域や飼料保管場所に入れないようにすること。

(壁の補修、防鳥ネットの設置・補修、周辺の除草 など)



③ 毎日の健康観察

④ 異常の早期発見・早期通報



高病原性鳥インフルエンザを疑う症状が見られたら 速やかに家畜保健衛生所へ！

HPAI（高病原性鳥インフルエンザ）を疑う症状

- ・ 急激に死亡する鶏の数が増えた
- ・ 過去3週間の死亡率と比べて、死亡率が2倍以上になった
- ・ 5羽以上まとまって死亡している
- ・ まとまって嗜眠・沈うつ状態になっている（写真1・2）
- ・ 皮下出血がある（写真3）
- ・ トサカや肉垂が暗青色に変化した（写真4）
- ・ 急激に産卵率が低下した



写真1. 感染し、元気をなくした鶏（真瀬昌司原画）



写真3. 脚部の皮下出血（真瀬昌司・谷村信彦原画）



写真2. 突然の沈うつ、すぐ死亡（山口県提供）



写真4. 宮崎株実験鳥 肉垂のチアノーゼが見られる（動物衛生研究所提供）

十和田家畜保健衛生所

電話 0176-23-6235(平日) 携帯 090-6453-7023(休日・夜間)

ホームページ

十和田家畜保健衛生所

検索